

平成 29 年度第 1 回印西市教育振興基本計画生涯学習編検討委員会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 5 月 19 日（金）午後 2：00～午後 3：20 まで
2. 場 所 印西市役所 41 会議室
3. 出席委員 福留強委員（委員長）、桜井繁光委員（副委員長）、常光康介委員、高城國司委員、篠原年枝委員、伊藤明生委員、谷口由美子委員、對馬由佳委員、櫻井圀郎委員
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 生涯学習課 飯島課長、関口主査、五十嵐主査
教育総務課 高石参事、吉林副主幹
6. 傍聴者 なし
7. 議 事 (1) 印西市教育振興基本計画最終素案について
(2) その他
8. 議事録 要点筆記

議事 (1)

～事務局より (1) に関する資料を説明

委 員：14 頁に追加された「社会教育施設」は「生涯学習施設」が適切ではないか。55 頁では生涯学習施設となっている。62 頁には「生涯学習施設の整備・充実」とあり、公民館・地域交流館や図書館の適正な維持・改修となっている。生涯学習施設が何を指しているのか 62 頁にまで進まないと分からない。

委員長：公民館や博物館などは社会教育施設である。社会教育施設は社会教育法に基づいているが、生涯学習施設にはいろいろな分野の施設がある。ただし、計画には様々な施設が出てくるので、生涯学習施設に統一した方が分かりやすい。

委 員：資料の中で、基本計画の「基本」の文字が抜けている。15 頁「②生涯スポーツ」の「②ーア 取り組み状況と方向性」となっているが、他の箇所と同じく「課題」が適切ではないか。2020（平成 32）年オリンピック・パラリンピック東京大会の表記も統一してほしい。

事務局：委員のご意見に従い修正する。2020（平成 32）年オリンピック・パラリンピック東京大会は、和暦を入れた方が分かりやすいと考え、和暦も入れている。それ以外の箇所も西暦と和暦の両方を入れた方が見やすくするというご意見もある。

委員長：西暦と和暦の扱いについては事務局で検討してほしい。

委 員：計画の最終素案は、きちんと修正されていると感じた。基本理念は「だれもが輝き ともにばたく いんざいの学び」とともに、「ともに生き、光り輝く、いんざいの学び」と「支え合い、ともに輝く、いんざいの学び」の代案も挙げられているが一番いいのが「だれもが輝き ともにばたく いんざいの学び」だ。

基本方針 1 が子ども、基本方針 2 は地域住民が中心なものも納得できた。

60 頁「生涯学習情報の提供」の方向性で「より多くの人々が生涯学習に関する情報を活用できるように、生涯学習に関する情報を収集し、生涯学習ガイドとして冊子と市ホームページで情報を提供します。」と「より多くの人々が、時間・場所を問わずに生涯学習などに関する情報を活用できるように、生涯学習に関する情報を収集し、生涯学習ガイドや生涯学習に関する情報を、市ホームページで提供します。」と 2 つ提示されているが、この違いは何か。

事務局：分かりづらい文章なので、もう一度見直し、端的に分かりやすく修正する。

委員長：3 頁の関係図に「生涯学習振興法」が追加されているが、計画に入れるのであれば社会教育法のほうが適切だと思う。

「生涯学習振興法」は生涯学習推進のための施策の振興であり、市民大学の開校、生涯学習センターを整備して大学化することをはじめ、重点整備地域やテクノポリスなどが謳われている。したがって、「生涯学習振興法」はこの計画にはまったく関係がないものだ。住民の市民活動に関係するという視点から考えていけば、社会教育法の方が適切だ。欲を言えば「生涯学習振興法」と「社会教育法」の 2 つを関係図に並べても良いかも知れない。

事務局：委員長のご意見を踏まえ確認し修正する。

委員：文字間隔が半角空いている箇所、誤字がいくつかあるので詰めてほしい。51 頁で「中学校のトイレ洋式化工事」とあり小学校がなく、中学校だけになっているが小学校は行わないのか。52 頁は、幼稚園が追加されているが、保育園、幼保園は幼稚園に含まれるということか。

事務局：文字間隔の詰めについては修正する。また、小学校のトイレについては今年度中に整備がすべて終わる。保育園、幼保園はここには該当しない。

委員：30 頁の主な取り組みで「地域ぐるみさわやかコミュニティ」とあるが、委員会はこの中に該当しないのか。事業としては「さわやかコミュニティ推進事業」があり、その中に委員会があるが、それを指しているなら、委員会が入ってしかるべきだと思う。

61 頁に「生涯学習まちづくり出前講座の充実」とあるが、講座数を増やすことが充実なのか、それとも内容も深めていくことが充実なのか。市民の意見がなければ講座数を増やせないわけだが、市民の意見を聞いて内容を充実させるという言い方になると思う。市民の声をよく聞いて良い意見を取り入れることも必要である。

事務局：回数だけの充実ではなく、内容も含めての充実と考えている。講座の中には申込みの多いもの、市民の反応が良くないものもある。こうしたことも踏まえて、委員のご意見を検討する。

委員：修正して随分見やすくなったが、その分、新たに気になるところもある。リーディング施策は、前回まではプロジェクト型と書かれていたが、修正後はプロジェクト型がはずれている。また、他の委員も指摘しているが、「循環型生涯学習」「総合型教育」「総合型プログラム」などいろいろな言葉が出ているため理解できないとあり、私も同感だ。それぞれの定義について解説すると市民もわかりやすい。

「総合型教育」を進めていくためには、『子どもの「総合型プログラム」を、将来的には関係各課と連携をとりながら、乳幼児の時期から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな体と心を育む学びを推進することを検討します。』と書かれているが、ここは「総合型教育」ではなく「教育」でも良い。29頁のステップ3では「生涯学習社会の構築」とある。同じようなことだが、言葉がバラバラである。

委員長：最後の頁に主な用語の説明を簡単に説明していくと良いと思う。また。国の答申で使われている用語を掲載する方法もある。

事務局：「循環型生涯学習」などの用語については、出てきた頁の中で、その都度説明したいと考えている。

委員：『リーディング施策 2 市民だれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」の推進』では、幼児期から高齢者までのプログラムを総合的に整備したいという意図により、計画を作成しているということが読み取れる。

89頁に「リーディング施策アクションプラン案」とあるが、これは28頁からのリーディング施策の項に移した方が良い。89頁に掲載する場合は「リーディング施策アクションプラン」として「案」を省いて掲載するのが適切だと考える。

委員：「リーディング施策アクションプラン案」ではなく「リーディング施策アクションプラン実施計画」として書くべきだと思う。

事務局：「総合型教育」「総合型プログラム」などを含めて、用語の説明を行いたい。

委員：23頁だが「学校と地域人材との連携を強化し、学校が必要とする地域力や団体の協力を活用し、たくましく生きる子どもたちを育む教育を充実します。」とあるが「～充実させます」ではないか。

また、「そのため、子どもたちを育成する多様な教育、多様な活動のために～」とあるが「ため」が2度出ている。すっきりとした文章にしてほしい。

「地域」は上の文章に書かれているが、下の図では「地域」がどこを指すのか分かりにくい。そのため、24頁の基本方針2と下のイメージ図が結びつかない。

委員長：今の意見を踏まえて、23頁の図の中に地域を入れてほしい。

事務局：文章と結びつけていくためには、図を再度作り直す必要がある。

委員：修正が難しいことはわかるが、図にあるネットワークという言葉は文章の中にはない。言葉も共通したものを使うとイメージがよりわかりやすくなると思う。

委員長：図ではなく、文章を丁寧に修正すると分かりやすくなるので検討してほしい。

委員：基本理念の「だれもが輝き ともにばたく いんざいの学び」は良いと思うが、他の2つの案を含めて検討するということか。

事務局：基本理念を3つあげているのは、ここから選んでほしいということではなく、あくまでもこのようなイメージ、という提案だ。検討委員会の意見を伺い、最終的には策定委員会で決定する。検討委員会で案を選んでほしい。他の委員会では、これで良いという意見だった。

委員長：「いんざい」という言葉を取れば、日本中で使用できる。無難といえば無難だ。生涯学習検討委員会としてはこれで良いか。

委員：一同、異議なし

委員長：議題1はこれで終了する

議事(2)

～事務局、委員ともに「特になし」

<その他>

◇今後は、6月16日に策定委員会を開催し、最終的な素案をまとめる。

庁内関係部署の調整を経て、問題がなければ議会への説明を行い、9月から3週間程パブリックコメントを開催する予定。さらに、パブリックコメントを開催する前に各委員にパブリックコメントの案内も行う。市民の意見は、整理した上で案をつくり、次回の検討委員会で示させていただく予定。

以上

使用した資料

- 印西市教育振興基本計画最終素案
- 印西市教育振興基本計画策定のための市民意見の概要
- 委員意見と対応案について
- 会議後意見シート

平成29年度第1回印西市教育振興基本計画生涯学習編検討委員会の会議録は、事実と相違ないので、当会は、これを承認する。

平成29年7月9日

印西市教育振興基本計画生涯学習編検討委員会

署名委員 谷口由美子